

プロジェクト名	バージョンアップシステム	資料名	基本設計書	版	1	作成日	2013/02/26	作成者	SSD
---------	--------------	-----	-------	---	---	-----	------------	-----	-----

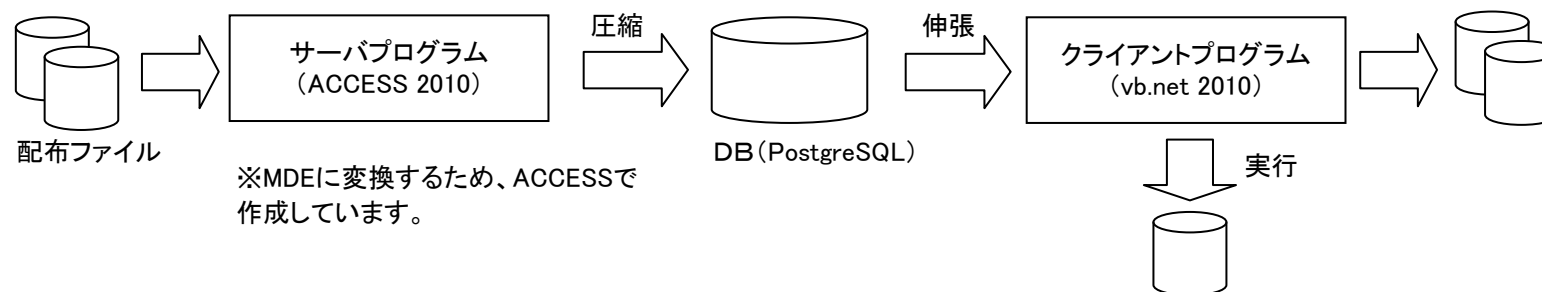
1. 概要

バージョンアップシステムは、各クライアントに最新の実行ファイルやテンプレートファイル等を配布するもので、以下の機能があります。

#	機能	内 容
1	配布ファイルDB保存	配布するファイルを圧縮(LZH)し、DBへ(PostgreSQL)保存します。
2	MDE変換	ACCESSファイルを配布する場合は、MDE(編集不可)に変換して配布します。
3	クライアント情報	Windowsのバージョンやメモリ情報、コンピュータの説明、IP-ADRESS、OSインストール日時等を収集します。
4	プログラム実行	クライアント側では、実行ファイルやACCESSファイルがあれば、メニューに表示し、起動することが出来ます。

2. システム構成

本システムは以下の構成で実行します。サーバプログラムは必ずしも、生産管理サーバである必要はありません。



プロジェクト名	バージョンアップシステム	資料名	基本設計書	版	1	作成日	2013/02/26	作成者	SSD
---------	--------------	-----	-------	---	---	-----	------------	-----	-----

3. 機能

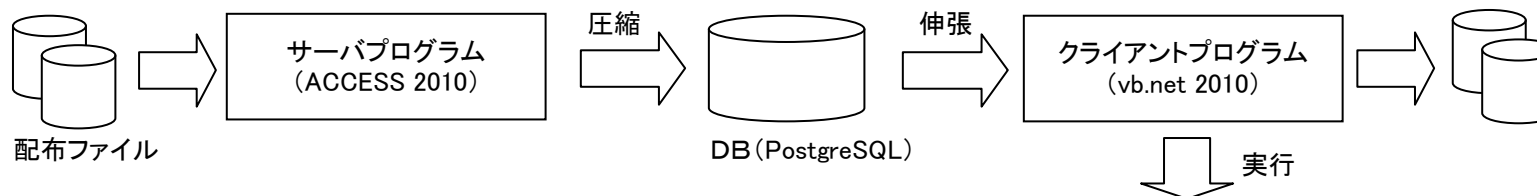
3-1 機能一覧

#	機能	内 容
1	配布ファイルDB保存	配布するファイルを圧縮(LZH)し、DBへ(PostgreSQL)保存します。
2	MDE変換	ACCESSファイルを配布する場合は、MDE(編集不可)に変換して配布します。
3	クライアント情報	Windowsのバージョンやメモリ情報、コンピュータの説明、IP-ADRESS、OSインストール日時等を収集します。
4	プログラム実行	クライアント側では、実行ファイルやACCESSファイルがあれば、メニューに表示し、起動することが出来ます。

3-2 配布ファイルDB保存

サーバ側で配布するファイルはDBに保存します。保存時は LZH にて圧縮して保存します。

クライアント側でバージョンアップする時は、LZHで伸張してローカルフォルダに保存します。



プロジェクト名	バージョンアップシステム	資料名	基本設計書	版	1	作成日	2013/02/26	作成者	SSD
---------	--------------	-----	-------	---	---	-----	------------	-----	-----

3-3 MDE変換

ACCESSファイルを配布する場合は、サーバ側で MDEに変換して配布します。
また、MDEのプロパティに以下を設定し、セキュリティを強化します。

プロパティ	設定値	内容
AllowBypassKey	FALSE	Shiftキーを無効にします
StartupShowDBWindow	FALSE	データベースウィンドウを非表示にします
AllowBuiltinToolbars	FALSE	組み込みツールバーを非表示にします
AllowFullMenus	FALSE	組み込みメニューを非使用にします
AllowBreakIntoCode	FALSE	実行時エラーが発生した後、VisualBasicコードを非表示にします
AllowSpecialKeys	FALSE	特殊キー シーケンスを無効にします

3-4 クライアント情報

クライアント起動時に以下の情報を収集し、DBに保存します。

情報	内容
コンピュータの説明	クライアントに設定されているコンピュータの説明
OSのバージョン	OSの種類、バージョン、ビルドNo
ワークグループ名	クライアントに設定されているワークグループ名
IP-ADDRESS	クライアントに設定されているIP-ADDRESS
メモリ情報	物理メモリ、空きメモリ、仮想メモリ
日付情報	インストール日時、起動日時

3-5 プログラム実行

クライアント側で配布されファイルの中で、実行ファイル(下記の拡張子)とACCESSファイルに関してはメニューに表示し、ユーザが実行できます。

拡張子	内容
EXE	実行ファイル
MDB	ACCESS MDB
MDE	ACCESS MDE

プロジェクト名	バージョンアップシステム	資料名	基本設計書	版	1	作成日	2013/02/26	作成者	SSD
---------	--------------	-----	-------	---	---	-----	------------	-----	-----

4. プログラム構成

4-1 サーバプログラム

サーバプログラムは、MDEに変換するため ACCESS 2010 で作成しています。また、LZH圧縮を行うため、UNLHA32.DLLを使用します。



4-2 クライアントプログラム

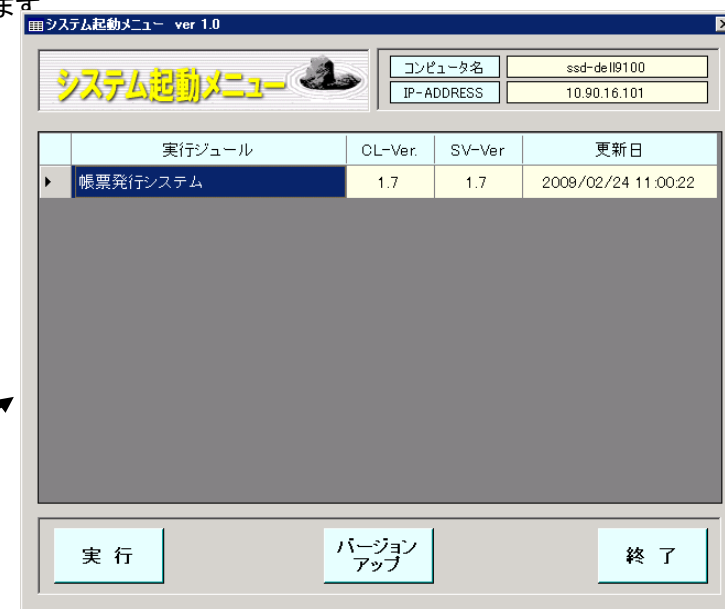
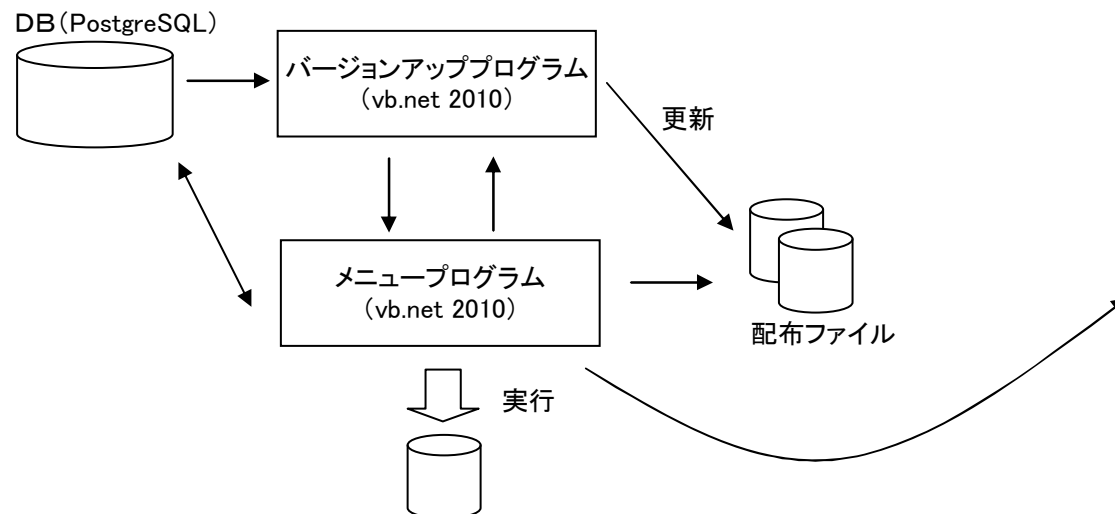
デスクトップの生産管理起動メニューをクリックすると、バージョンアッププログラムが起動します。

バージョンアッププログラムがバージョンアップされたファイルをバージョンアップし、メニュープログラムを起動します。

メニュープログラムの「バージョンアップ」ボタンで、バージョンアップしますが、メニュープログラム自体がバージョンアップされた時、

自分自身を終了し、バージョンアッププログラムを起動し、メニュープログラムをバージョンアップします。

尚、バージョンアッププログラムはインストール処理で配布し、バージョンアップは行いません。



プロジェクト名	バージョンアップシステム	資料名	基本設計書	版	1	作成日	2013/02/26	作成者	SSD
---------	--------------	-----	-------	---	---	-----	------------	-----	-----

5. フォルダ構成

サーバ側とクライアント側のフォルダ構成は、システム情報で指定します。
サブフォルダ以下は、同じ構成となります。

●サーバ

※システム情報	※ファイル情報	※ファイル情報
フォルダー	サブフォルダー	ファイル
C:\SEISAN-SV	BIN	sysMenu.exe



DB (PostgreSQL)

●クライアント

※システム情報	※ファイル情報	※ファイル情報
フォルダー	サブフォルダー	ファイル
C:\SEISAN	BIN	sysMenu.exe

システム情報

バージョン管理 (v.1.0)

システム情報

端末名 SSD-T43

更新日時	システム名	クライアントフォルダ	サーバフォルダ	備考
2009/02/10 11:02:03	生産管理システム	C:\SEISAN	C:\SEISAN-	

ファイル情報

バージョン管理 (v.1.0)

ファイル情報

端末名 SSD-T43

更新	更新日時	システム名	ファイル名	サブフォルダ	ファイル	バージョン	ファイル更新日時	サイズ
<input type="checkbox"/>	2009/02/25 16:23	生産管理システム	帳票発行システム	Bin	mikageSeisan.mde	1.7	2009/02/24 11:00	2,527,232
<input checked="" type="checkbox"/>	2009/02/24 10:59	生産管理システム	生産管理起動メニュー	Bin	sysMenu.exe	2.1	2009/02/24 9:52	122,880
<input type="checkbox"/>	2009/02/24 10:54	生産管理システム	入荷予定表	Template	入荷予定表.xls	1.2	2009/01/15 11:00	37,888
<input type="checkbox"/>	2009/02/24 10:54	生産管理システム	出荷予定表	Template	出荷予定表.xls	1.2	2009/01/15 20:44	36,864
<input type="checkbox"/>	2009/02/19 17:07	生産管理システム	出荷検量明細書	Template	出荷検量明細書.xls	1.1	2009/02/18 20:15	28,160
<input type="checkbox"/>	2009/02/24 10:52	生産管理システム	受入検量明細書	Template	受入検量明細書.xls	1.2	2009/02/18 19:47	27,648
<input type="checkbox"/>	2009/02/24 10:57	生産管理システム	注文請書	Template	注文請書.xls	1.3	2009/02/14 13:21	23,552
<input type="checkbox"/>	2009/02/24 10:57	生産管理システム	発注書	Template	発注書.xls	1.3	2009/02/14 16:44	24,064